

1. 内外政

- ・6日、キシナウ市内の最高国家集会広場において、参加者数万人(3~10万人と報道)に上る反政府抗議活動を実施。その後も、規模は縮小しつつも抗議活動が継続。
- ・8日、ティモフティ大統領が抗議活動に係る声明を発表。
- ・9日、ストレレツ首相は、6日の抗議活動に関し、抗議活動を行った関係者と近々会う準備がある旨、他方、自らが辞任する理由は見当たらない旨発言。
- ・10日、ストレレツ首相は、抗議活動代表者と面会。
- ・21日、与党連合は、大統領を議会過半数により選出することを可能とする憲法改正の是非を問う国民投票実施に向けた議会決議案を議会に登録。
- ・21日、ドドン社会党党首及びウサトゥイ「我らの党」党首は、両党共同で現政権への対抗を目的とする運動を行う、詳細は後日発表する旨発言。
- ・27日、キシナウ市内で、一部の野党(社会党及び「我らの党」等)が参加した大規模集会(参加者数は警察発表約2万

人、社会党発表約4万5,000人)が行われ、大統領辞任、内閣総辞職、議会解散及び繰り上げ大統領・議会選挙の実施等を求める決議が採択された。

2. 経済

▼マクロ経済

- ・15日、国家統計局は、2015年上半期のGDP成長率を3.6%と発表。

▼IMF

- ・22日、IMFのミッションがキシナウ入り。
- ・26日、カンドゥ議会議長は、同日のIMFミッションとの会合を受け、モルドバは、2016年1月にIMFとの新たなプログラムに署名できる可能性があると発言。

▼銀行部門

- ・21日、ドラグツァヌ中央銀行総裁及びマラシャグ同副総裁が辞任。ドラグツァヌ中央銀行総裁は辞任の理由について、何人かの政治家からの圧力があつたためと発言。

※本月報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)